

中日ばいりんがる交流誌 月刊クロスロード

海路

Crossroad

平成21年1月5日発行(毎月5日発行)

FEBRUARY/MARCH
2009

2/3

合併号

クロスロード特別企画 匠の顔
竹彫芸術の第一人者 徐秉方

日本観光シリーズ①

長野

海外に住む日本人と日本の税金 第1回



【広告申込先】
(深圳)0755-82469612
(広州)020-38103279



十郎リンゴよ、 思いをのせて被災した 四川の子供たちに届け！(PART 2)

献给四川地震灾区孩子们的十郎苹果(后续篇)

渡邊さん、おいしい リンゴありがとう！

「渡邊さん、ありがとう！リンゴが届いたよ、嬉しかった。」

08年のクリスマスの日に、綿陽区遊仙区石馬鎮中心小学からの電話を受けて、秋田にいる渡邊保子さんは幸せな涙を流した。

地震被災地の四川まで行けなかったとはいえ、自分の手で育てた20トンのリンゴが送々と、無事にクリスマスまで被災地に届くという念願が叶ったということは、渡邊さんにとって至上的幸福だった。力強く、希望を象徴するリンゴを送る前に、渡邊さんは日本から「冬は必ず春となる」と、励ましの言葉を送った。

神秘的クリスマスプレゼント

08年クリスマスの夜。いつもと変わらず、朗らかな読書の声が響き渡る石馬鎮小学校。3年1組の子供たちは自習に

取り掛かっている。突然、「みなさん、今日、何の日か知ってるか？」と担任の先生から聞かれた。「クリスマスで〜です」と。そして「プレゼントをもらいたいでしょう？」「もらいた〜い」。その時点、担任の先生はまだ子供たちににも言わなかったが、日本からのリンゴはもうこっそりとキャンパスに運び込まれていたのだ。

そこに現れたのは、田邊盛治さん。彼は、その日、神秘的クリスマスプレゼントを携えて教室に入った。「みなさん、なんのプレゼントか当てて下さいね」と田邊さんのたどたどしい中国語。ダンボールを開けてみたら、ざっしりと綺麗に詰めてある真っ赤なリンゴ。その途端、子供たちに「うわ〜」という歓声が広がった。「リンゴ大好き」と誰かが叫んで、48人の子供たちは一斉に躍り上がった。

「みなさん、日本にはこのことを心配してくれるおじさん、おばさんがたくさんいるよ、ぜひみなさんの力で地震で壊

れた家を建て直してほしいんだよ」と田邊さんは李可馨という女の子の頭を撫でながら、言った。そして、右手で握りこぶしを作って何回となく「頑張って」と励ました。

「負けちゃ駄目！」

「皆さん、どうしてですか、寒くなっちゃいましたが、大丈夫ですか？私は秋田県の渡邊保子と申します。いてもたってもいられず、今の私にできる事は私が作ったリンゴを送る事でした。...このリンゴは普通のリンゴではありません、亡き父(十郎)がくわ一本で荒れた山を開拓し育てた力強いリンゴです。希望のリンゴです。冬はかならず春となる。これは私たち全員の災難です。皆の苦しみを、一緒に戦っていきましょう。頑張ってください。心より応援しております。」

リンゴを手にした子供たちはすぐ気がついたが、一個一個のリンゴには渡邊さんの手紙がヒモでつけられているのだ。班長の鄭傑さんが講壇に立って大きな声でその手紙を読み上げる。下の生徒たちは静まり返って、感激のあまりに目を潤ませてしまう女の子もいた。

しばらくして、班長の鄭傑さんは黒板に「谢谢渡邊奶奶，谢谢田边叔叔还有郑阿姨」という中国語を書いた。謝謝の二文字は特別に大きかった。その情景に目を

クロスロード独占追跡報道

潤んだ田邊さん。思わず二人の子供を抱き寄せて、携帯を取り出し、渡邊さんに番号を回す。つながった瞬間、言葉が乱れ、「届いた、届いた。嬉しかった。」としか話さなかった。もちろん電話の向こう側の渡邊さんも涙した。

愛をこめたリンゴは 三校の子供たちに

石馬鎮馬副鎮長の話では、20トン、計一千カートンのリンゴはすべて石馬鎮に到着済み。渡邊さんの指示に従って、直ちに石馬中学校、石馬小学校、庄園小学校、三校の子供たちの手にお届けする。リンゴの金額は卸売価格に合わせると、約20万人民币元。個数が34000にのぼっている。石馬小学校の校長先生は今回のリンゴに関わった日本人たちにとっても感謝しており、新年を前に渡邊さん宛てに子供たちの気持ちのこもった手紙を送りたいという。(おわり)

渡邊奶奶，您送来的苹果真甜！

“谢谢渡边奶奶，我们收到苹果了，我们好开心。”

08年圣诞节那天接到绵阳市游仙区石马鎮中心小学孩子们打来的电话，人在秋田的渡邊保子在电话那头流下幸福的眼泪。

虽然没有亲自来到四川看望灾区的孩子，但得知自己栽种的20吨苹果已经漂洋过海，如期在圣诞节到达灾区，渡邊女士感到无比的幸福。在竭力象征着希望的苹果送出去之前，渡邊女士还从日本送来了鼓励的话语：“孩子们，冬天终会过去，春天必将来临。”

神秘的圣诞礼物

08年圣诞中午，石馬板房小学里象平常一样传出朗读书声，3年级1班的孩子正在上自习课。“孩子们，知道今天是什么节日吗？”站在讲台上，班主任问同学们。“知道，今天是圣诞节嘛！”“那你们想不想收到圣诞礼物呢？”“想！”班主任没有马上告诉孩子们，他们还不知道苹果已经被悄悄搬进了校园。

此时，田邊盛治先生带着神秘的圣诞礼物来到教室。“孩子们，知道我给你们带

来什么礼物呢？”操着半生半熟的中国话，田邊先生打开了礼物箱，里面原来装着一排排红彤彤的苹果。“哇！是苹果，我最喜欢吃苹果了。”不知道谁高兴地惊呼，48个孩子顿时欢欣雀跃。

“孩子们，日本有很多叔叔阿姨哥哥姐姐都在关心你们，我们真心地希望，你们能健康成长，亲手重建美好家园。”田邊先生抚摸着可爱的女孩子李可馨，右手握紧拳头，连连说了好几个“干巴得(日语：加油)”

“我们不能输！”

“大家最近过得怎么样了？天气越来越冷了，大家可得保重哦。我是秋田县的渡邊保子。最近我常常坐立不安，我所能做的就是把我亲手种出来的苹果寄给大家……这个苹果不是普通的苹果，是我父亲(十郎)生前一锄一锄在荒山上种育出来的生命力顽强的苹果。是充满希望的苹果……冬天终会过去，春天必将来临。这是我们所有人的灾难，大家的苦痛。让我们一起战斗！加油！我从心里声援你们。”

捧着苹果的孩子很快发现，每个苹果上还绑着一张小纸条，原来这是渡邊女士写给灾区孩子的亲笔信。班长郑杰站在讲台上，大声朗读着渡邊奶奶来自大洋彼岸的祝福。台下的同学们立刻恢复平静，一些小女孩眼眶中闪烁出了泪花。

“谢谢渡边奶奶，谢谢田边叔叔还有郑阿姨。”郑杰在黑板上写了两个大大的“谢”字，田邊先生一把将郑杰和李可馨揽进怀



中，他掏出手机给渡邊女士拨去电话，泪流满面的他开始“语无伦次”：苹果都送到了，我现在很幸福，很开心。电话那头，渡邊女士也激动地流下幸福的眼泪。

爱心苹果将发给3所学校的孩子

石馬鎮馬副鎮长告诉记者，20吨一共近千箱苹果于昨日上午全部到达石马，他们将按照渡邊的嘱咐将苹果送给当地石马中学、石马小学和庄園小学3所学校的孩子。据悉，这批苹果按批发价计算总价值约为20万元。由于苹果有34000多个，每个学生至少能分到好几个。对于日本友人的善举，石馬小学校长表示感谢他们对灾区孩子的关心，他将会组织一些小学生在新年来临之前，给渡邊奶奶寄去感谢信。(完)

感謝の一言

去年七月灾区的孩子曾对我说过，当初は輸送費の一部を中国側にいる日本人に協力して頂く様子が始まった此の活動ですが中国にリンゴを輸入する経験のある日本人が少ない。果物輸入のいろはから始めた。しかし私の会社では到底不可能な事が起り、一時期は断念かと考えた。これでは秋田の人造の雪分は報われない。JETRO 応州に問い合わせ、リンゴの輸入実績情報の提供を頂き、月城から輸入代行の依頼をした。やっと堺市貿易振興出口有限公司の郭社長から実費のみで引き受けて貰った。此の活動は渡邊女士と私二人で進めた事ではなく、多分1000人以上の日本人が関わり達成できたと思います。此方での基金に協力頂いたゴルフ仲間の中野さんや郭社長、石馬鎮の馬副鎮長そして秋田の子供リンゴの皆さんに此の場を借り心より感謝申し上げます。皆さんの代表として現地の四川の子供達にプレゼント出来た事を光栄と致します。皆さん本当に有難う御座いました！(田邊盛治)

